



VALORIZE ROTARY
COM
FÉ E ENTUSIASMO

ロータリーを高めよ 思いを尽くし熱意を尽くし

1990-91年度国際ロータリーのテーマ

- 国際ロータリー会長 パウロV.C コスタ ●第256地区ガバナー 原 猛
- 会長——小林九満太 ●副会長——渡辺 宏策 ●幹事——斎藤 弘文
- SAA——渡辺 喜彦、五十嵐 力 ●例会日——毎週水曜日 12:30～
- 例会場——三条市旭町2-5-10 三条信用金庫本店 TEL 34-3311
- 事務局——三条市旭町2-5-10 TEL 35-3477

(FAXも同番号 午後3時以後はFAXに切り替わります)

- クラブ会報委員——渋谷 正一、金沢 興宗、木許 紘一、池田 千秋

出席者会員数 会員 76名中 55名

先々週出席率 90.54% (前年同期 90.12%)

今日のお花 チューリップ

ヴィジター 新潟東より 鍛冶 務君

三条南より 伊藤不二男君

三条北より 高橋彰雄君

燕より 小林栄三君、片山 弘君

ゲスト 国際協力事業団技術専門家 岩崎重義殿

先週のメイクアップ 2/12 三条北へ 長谷川有美君、山本福七君、濱 潔君、
池田千秋君、加藤紋次郎君

2/12 新潟へ 堀川政雄君

会長挨拶 小林(九)会長

先週の新年おせち例会には、名誉会員である内山市長や沢山の奥様方にもご出席頂き、楽しい新年会が出来ましたことを喜ぶものでございます。特に松木屋さんの心あたたまるお世話で、腕によりをかけた素晴らしいおせち料理を賞味出来たことに感謝申し上げます。

10日の日曜日に榎本会員の榎本測量事務所創立40周年記念式典に、私もロータリークラブ会長としてご招待にあづかり出席致しました。立派な式典でございました。益々のご発展を祈ります。

東海以西では春一番が吹いたそうですが、越後はもう少し時間がかかるようです。お互い風邪をひかぬよう注意したいものでございます。

幹事報告 齋藤(弘)幹事

◎例会変更のお知らせ!

三条南RC——2月25日(月)講演会、三条中央公民館、通常例会なし。

三条北RC——2月26日(火)→2月27日(水)に夫人同伴パーティー

於 三条ロイヤルホテル

燕RC——2月21日(木)友人招待日 PM6:30~ 於 明治屋新館

◎長岡RCより 創立40周年記念式典のご案内がとどいております。

とき 平成3年6月23日(日) PM1:20~

ところ 長岡グランドホテル

※ 正式な御案内は後日詳しくお知らせ致します。

◎三条市特殊教育研究協議会より

三条市特殊学校学級児童生徒の卒業、進級を祝う会のご案内がとどいております。

とき 2月21日(木) AM10:00~

ところ 県立月ヶ岡養護学校

◎三条ロータリークラブ 創立20周年記念式典が4月14日(日)

式典 AM11:30~

祝賀会 PM1:00~

地場産センター 4階大会議室

ニコニコボックス ¥16,000

小林(九)君 榎本測量事務所創立40周年記念式典おめでとうございます。益々のご発展を祈ります。

五十嵐(昭)君 榎本事務所40周年、まことにおめでとうございます。

広瀬君、近藤君

榎本測量事務所の創立40周年おめでとうございます。これからの益々の御活躍を祈念しています。

榎本君 2月10日、当事務所の創立40周年記念式を催しました処、会長殿はじめ、盟友多数の御参加をいただき有難う御座いました。

今日は私用で早退させていただきます。

外山(雅)君 三条ロータリークラブ新年宴会に家内まで出席させて頂き有難うございました。御担当の方々に御礼申し上げます。

上木君 本日の卓話に岩崎さんお忙しい処有難うご座いました。

丸山君 岩崎先生の講話有難うございます。

榎本測量事務所の40周年おめでとうございます。

渡辺(勝)君 国際奉仕月間の行事としてお話し頂く本日卓話のゲスト岩崎さんに感謝します。

広岡君 先週のおせち料理例会には大勢さんのお越しを頂きまして誠に有難うございました。

荻根沢君 誕生ケーキありがとうございました。残念乍ら主不在の為、大きな2本足のネズミに全部やられました。

五十嵐(晋)君 ホームクラブ、久し振りの出席です。

卓話 国際交流へのアプローチ

岩崎重義殿

私は神奈川県に生まれ、昭和20年疎開により三条に住みついた。3年前より工場住宅共、栄町に移し、“かじや”の仕事をしている。三条から栄町へ、栄町で快適に暮らしてはいるが、住む所で特色はある。三条と燕、三条と長岡、夫々に少しちがったところがある、県も夫々に特色を持ち、更に国というブロックで世界が成り立っている。人はブロックに固まって生きているものであり、それを区画するものが国境である。



近年国際という言葉がよくきかれる。国際とは辞書によれば、国と国との交流である。国対国は外務省を通じてのおつきあいで私達とはあまり関係がない様に見えるが、国と言うのは個人によって成り立っている。個人個人と他のグループの個人個人つき合いと言うように考えておつきあひするのがよいと思う。

先日、中国北京で仕事をした。成田から3時間半で北京空港におりたったが、茨木県あたりでも歩いている感じであった。交通手段の発達で、遠い所でも身近かになった訳である。外国への入国や出国には、わずらわしいとりきめの中で動かなければいけないし、又政府との間につきあひのないところへは行かれないという事情もある。しかし交流が個人レベルにおりて来ると気楽になる。商売になると国際ということばはつかわずに貿易という形で動く。

戦後日本の貿易の伸びはすごいものがある。鉄鉱石の輸入、石炭、石油、食料品……数え切れない位の物を世界各国から買っている。逆に言うと売っていただいている。我々も又、努力して他国へ供給している。こんな事で、我々は既に間接的な国際協力をやっているのではあるが、毎日の暮らしの中で物のうごきと人のつながり、交流をはっきりと考えないだけの事である。

1945年、豊かになった国、安らかな暮らしの出来る国が、暮らしの大変な国を応援しようという世界的な会議がスリランカのコロomboで開かれた。これをコロombo計画と言い、現在日本も先進国として加盟している。交流や協力の関係を見ると、人間の偉いところは、争いや欲にからみ、まずい事を起した後でも、改めて、これを糧として良い方向に探すことだと思う。日本の外交の大切な柱の一つに、このコロomboプランに従った国際協力活動がある。先方の国の希望を聞いてお手伝いすることであるが、個々の計画を実施する機関が国際協力事業団（ジャイカ JICA）である。

国際協力には政府サイドのものと、民間サイドとがある。交流の仕方はどちらでもよいと思う。身近かには、交換留学生の受け入れがあったり、又外国人労働者の受け入れ問題等が起きている。只日本人は謙虚というか、慎重なくせがあるので様子がわかるまで仲々行動にうつさない。引っ込み思案のところが目立つが、国際交流や理解については、積極性を身につけて欲しいと思う。私の海外での体験の中から、言葉は不十分であっても、何とか通じ合えるものがあるし、その気になれば言葉も覚えられる。日本人は、外国の言葉が頭の中に一杯つまっている、口から出せない場合が多い。先に言葉を口から出し、それから考える。それでいいと思う。食べ物も現地の風土気候にあったおいしいもの、又おいしい食べ方があるものだ。一昨年より、つくばの国際協力事業団農業研究生を三条で受け入れ、十数名の工場実習や家族との交流で喜ばれた。帰国した人達と年賀状のやりとりやいろいろな文通が続く中で、今年も又そうした計画がもちかけられている。

国際交流は、言葉、宗教等のちがいをのりこえて、善意のつきあいを広げて行くことを理解して頂きたい。国際ロータリアンと言う、国を越えた活動の輪の中に一味加えていただきたいと希っている。

2月20日例会 卓話 五十嵐 力会員

2月27日例会 卓話 内山裕一市長

3月6日例会 卓話 日戸平太会員

PolioPlus



“開発途上国の新生児を対称に
ワクチン投与資金協力を”